



認知症ケア医療介護連携体制の構築事業 R1年度実績報告

三重大学医学部附属病院 認知症センター

◇目 的

三重県もの忘れネットワークにおける多職種間の連携・協働を進めるために、「認知症ケアの医療介護連携体制構築事業（令和元年度）」の中で、各地域で病診連携、医福連携を展開していくための基盤整備を行うことを目的とし、同時に「みえる手帳」の普及啓発活動を進めました。

◇対象者

三重県内のモデル地区在住で、認知症の疑いのある方

◇方 法

三重県内のモデル地区（桑名市、木曾岬町、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、多気町、大台町、明和町、伊勢市、玉城町）で事業を実施します。かかりつけ医からスクリーニングの依頼を受け、認知症連携パス推進員がITスクリーニングによる認知症機能評価を行います。当センターの認知症専門医によるコメントをお返しし、認知症の早期発見・対応の判断資料として活用していただきます。必要に応じて「みえる手帳」を病診連携・医福連携に活用するよう啓発活動を行います。

◇結 果

スクリーニング実施数は132名で、
医師からのスクリーニング希望(98.5%)が多くありました。

男女比は男性43.2% 女性56.8%でした。

介護保険の要介護度は、未申請72.0%でお元気な方が多く、家族構成は配偶者と二人暮らし(36.4%)、もしくは同居家族のいる世帯(37.9%)が多かったです。

BPSDがある方(16.7%)の内容は、アパシー、幻覚、妄想、易刺激性など初期～中期によく見られる症状が多かったです。

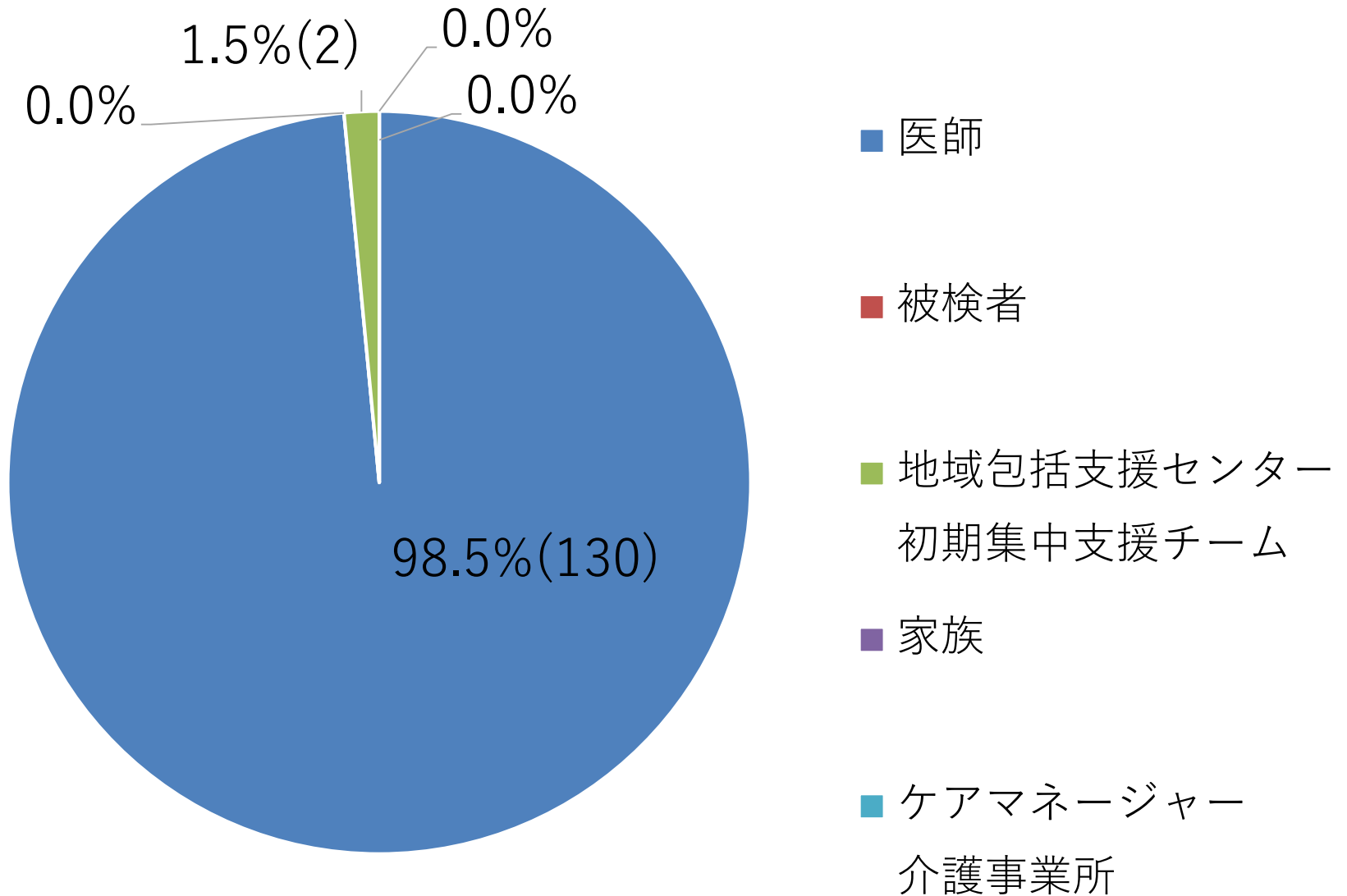
スクリーニング結果は、

専門医療機関受診を推奨されたのが59.1%で、かかりつけ医から専門医療機関へ紹介されたのは73.1%でした。

専門医療機関での鑑別診断結果は、

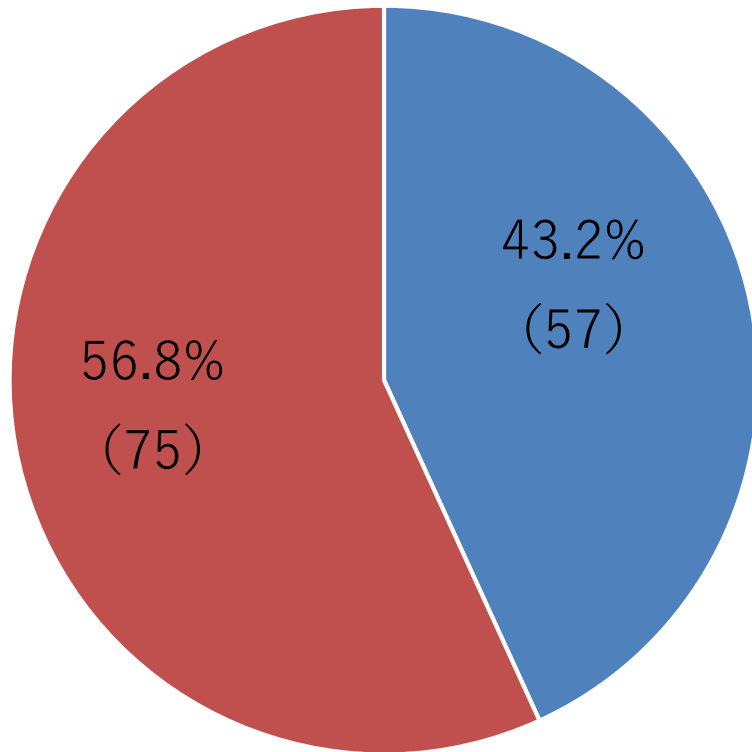
認知症の診断あり70.4%、軽度認知障害(MCI)11.1%、その他及び不明は18.5%でした。

スクリーニングの相談経路 (N=132)



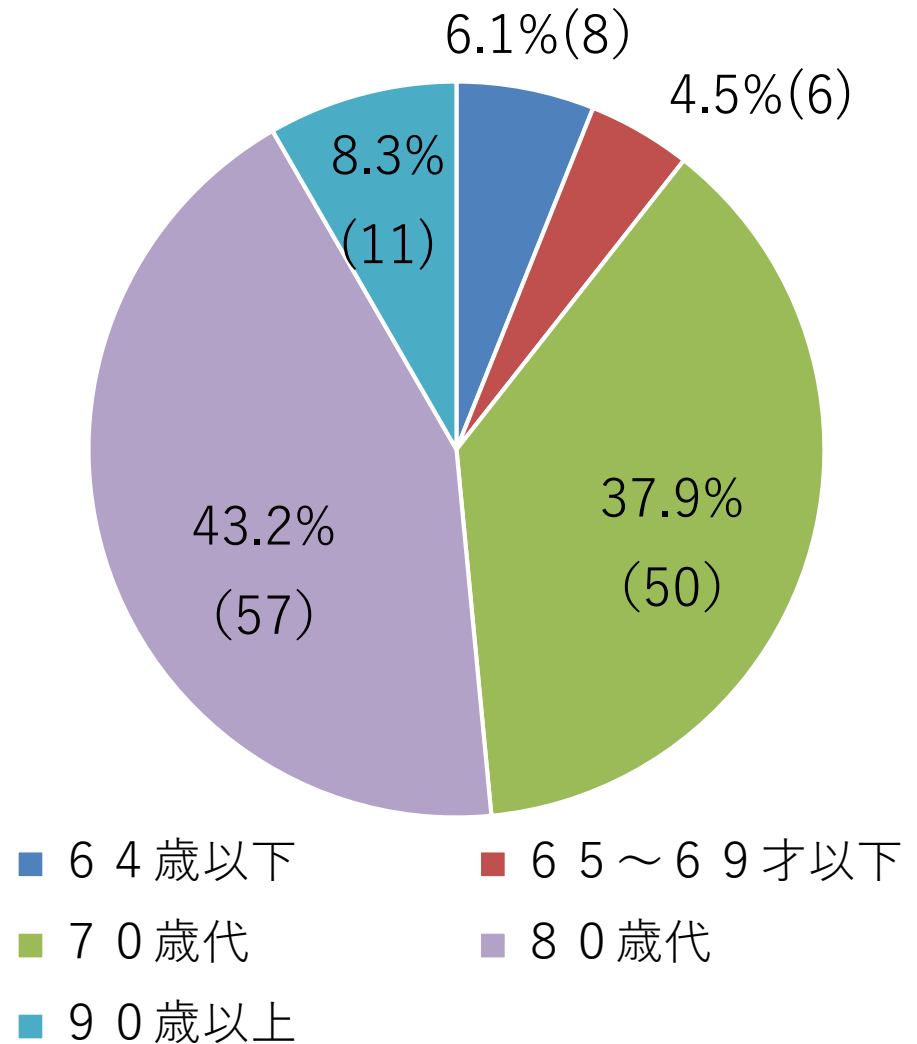
患者の性別と年齢 (N=132)

性別



■ 男 ■ 女

年齢



■ 64歳以下

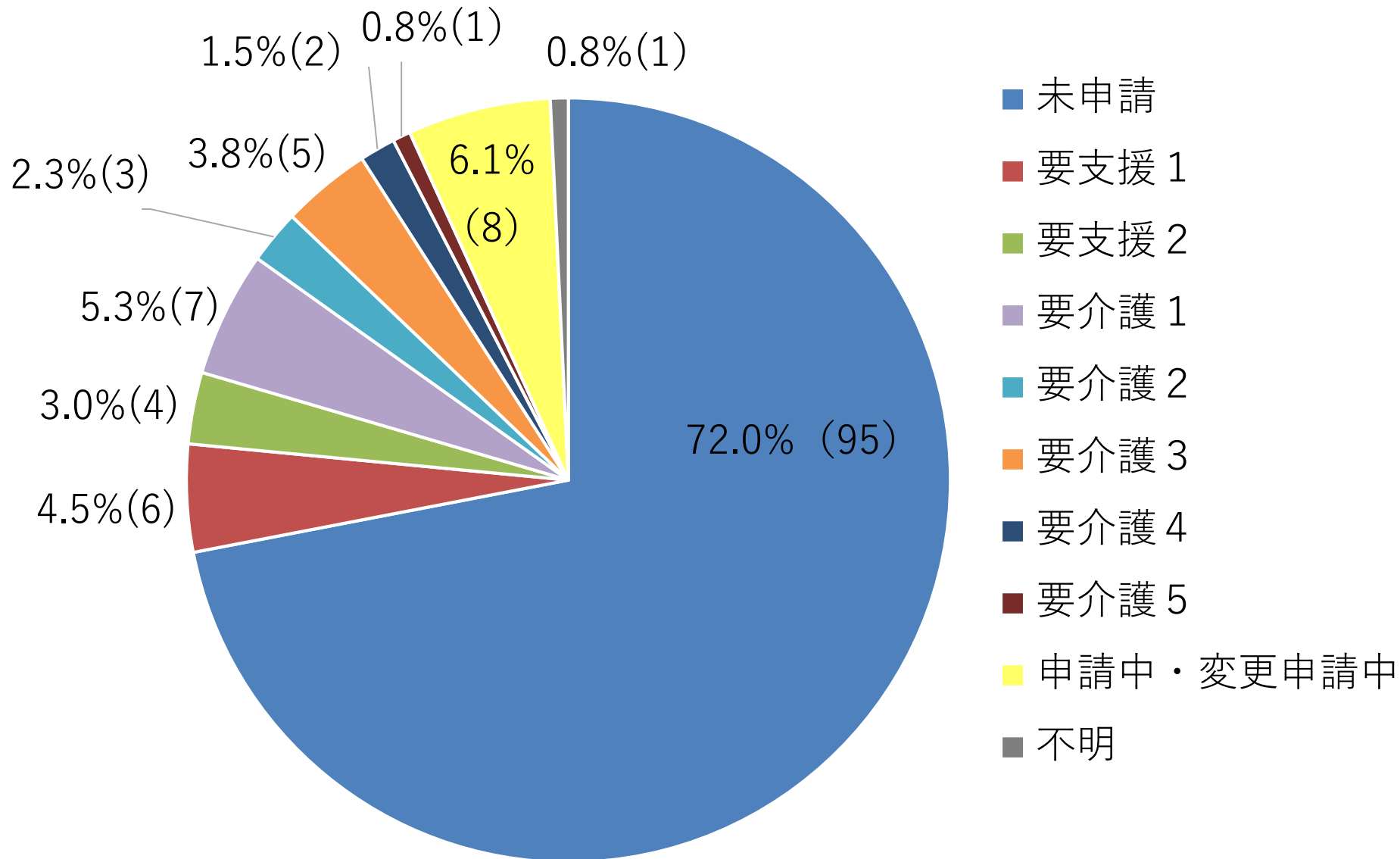
■ 65~69才以下

■ 70歳代

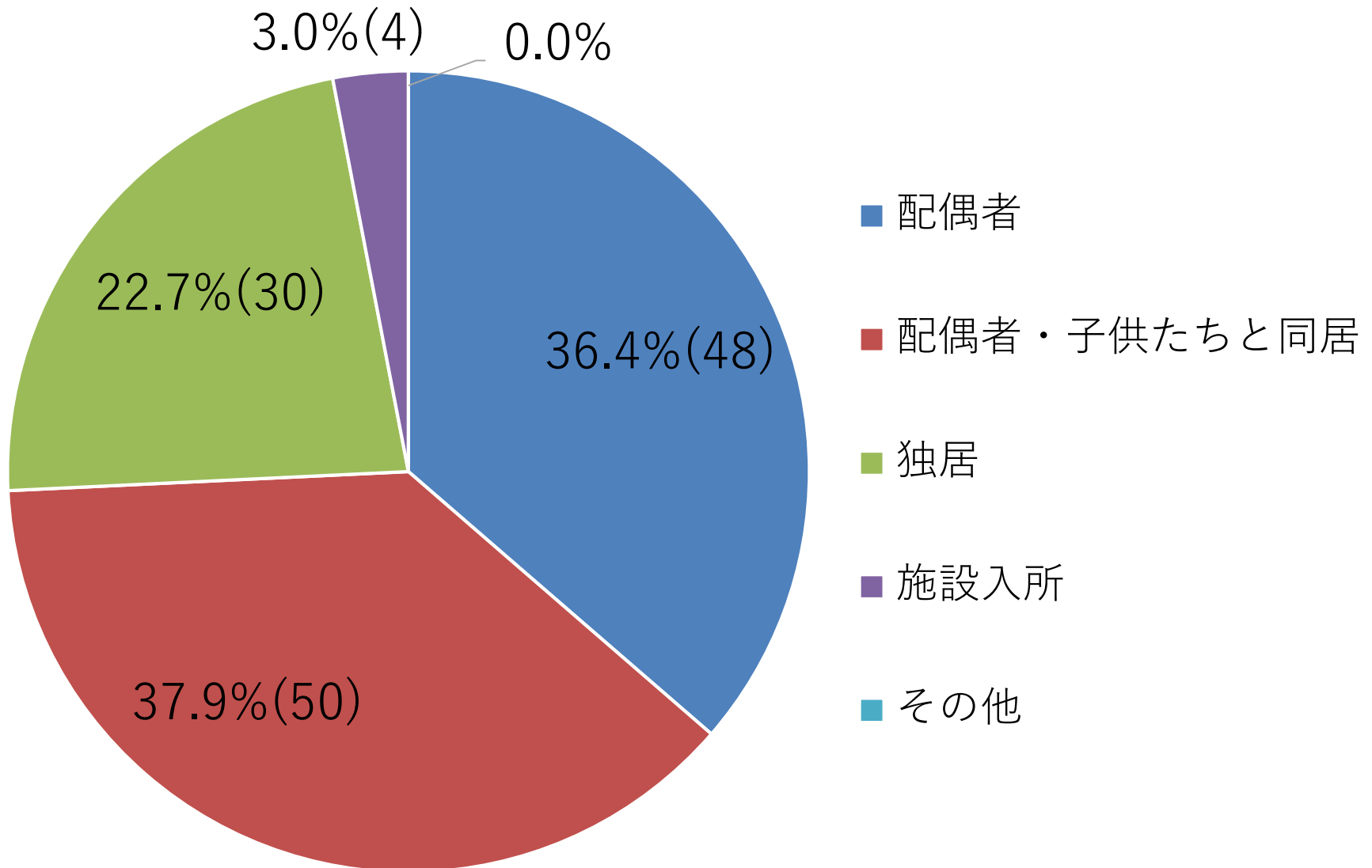
■ 80歳代

■ 90歳以上

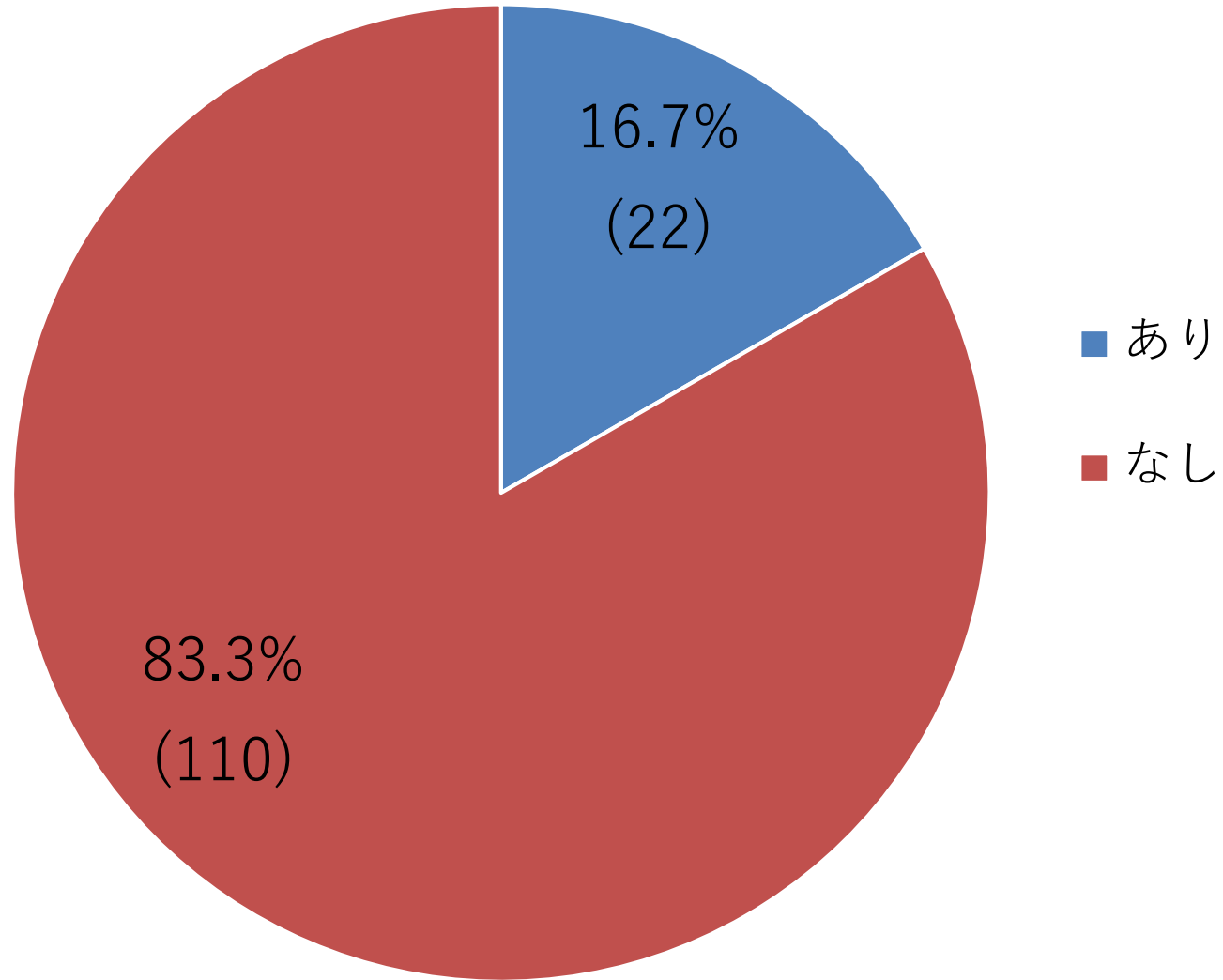
患者の要介護度(N=132)



家族構成 (N=132)

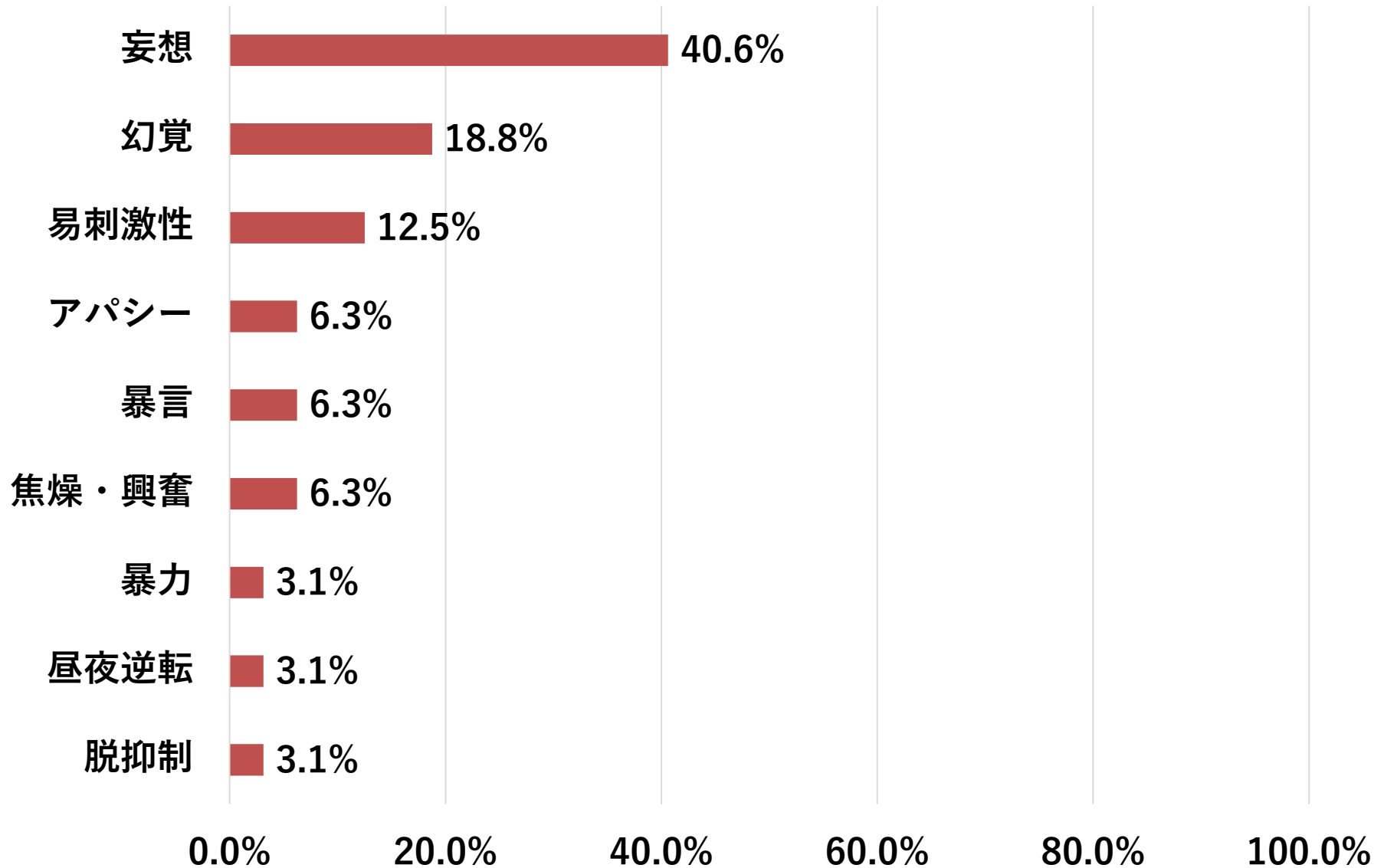


BPSDの有無 (N=132)



BPSDの内容(%) (N=22)

※複数回答あり



※聞き取りで挙げた内容のみ掲載しています

スクリーニング結果 平均得点 (N=132)

MMSE	22.7 ± 5.4
BFB	36.9 ± 9.4
AOS	36.4 ± 26.0
ADL(%)	95.0 ± 15.2

<患者に対して実施する評価

>

◎ Mini Mental State Examination (MMSE)

→ カットオフ値 23/24

◎ Brain Function Battery (BFB)

→ カットオフ値 40/41

} 認知機能検査

<介護者に対して実施する評価

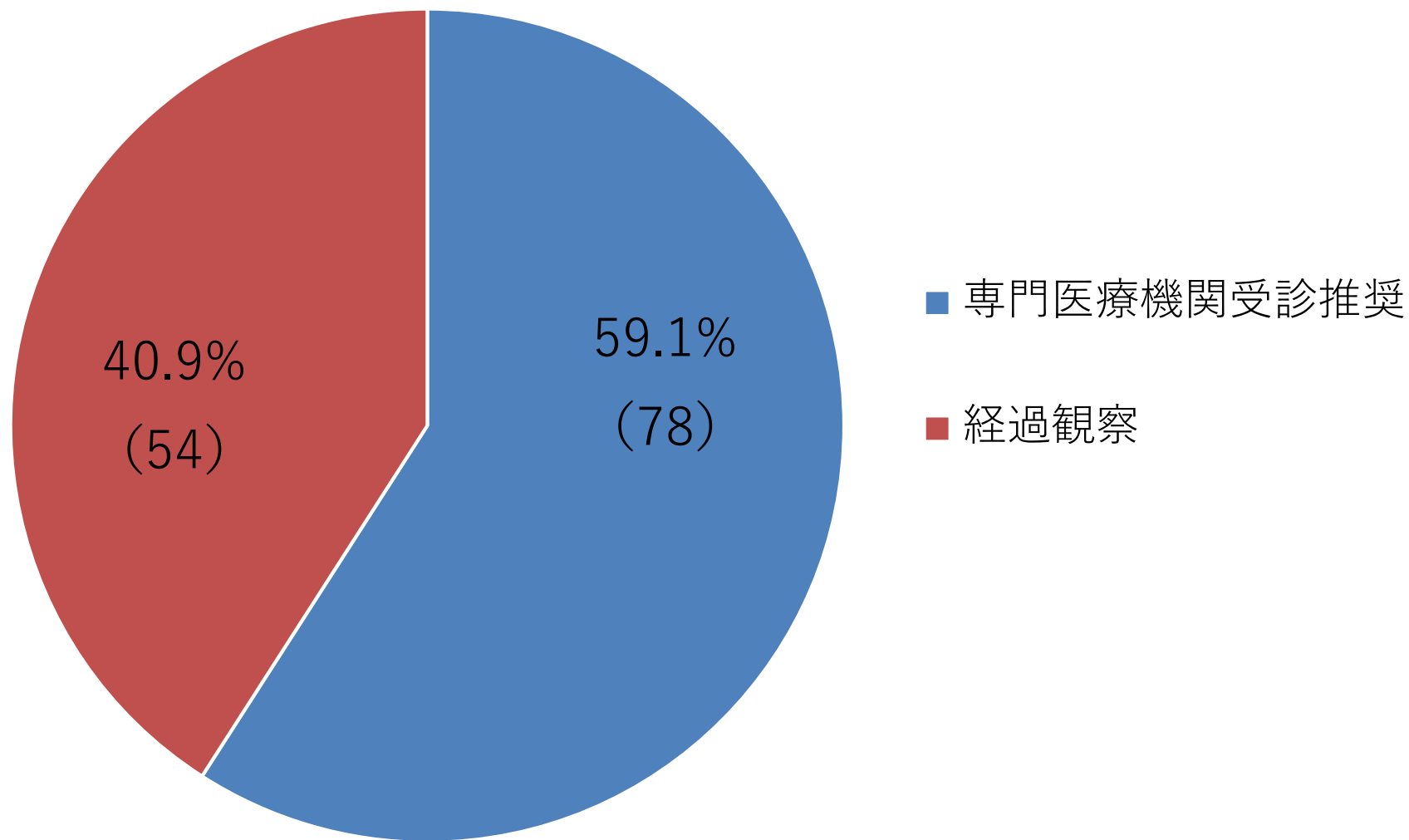
>

◎ Action Observation Sheet (AOS)

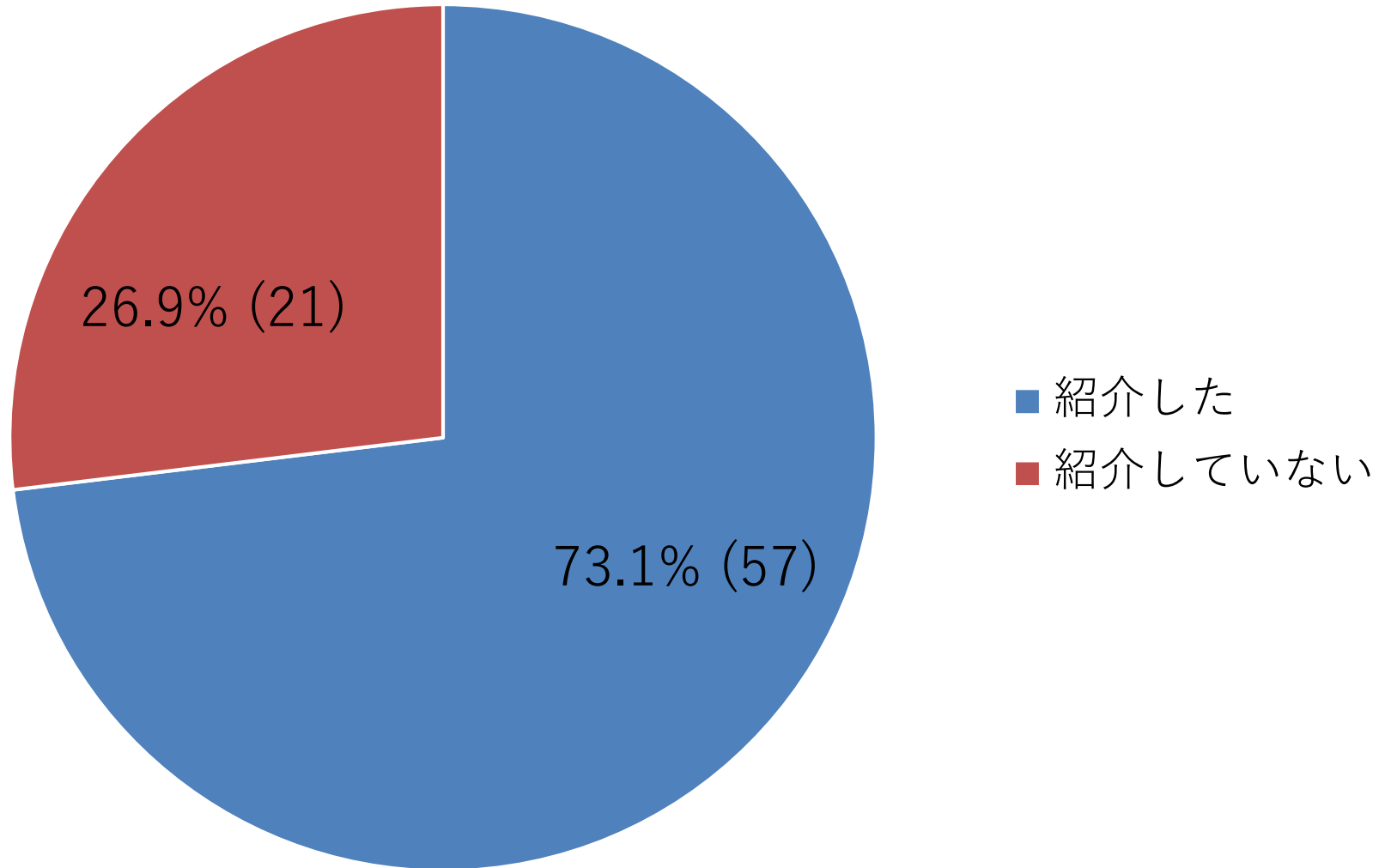
→ 9点以下; 正常/10~19点; 境界/20点以上; 認知症

} ADL、BPSD、
日常生活の様子 等

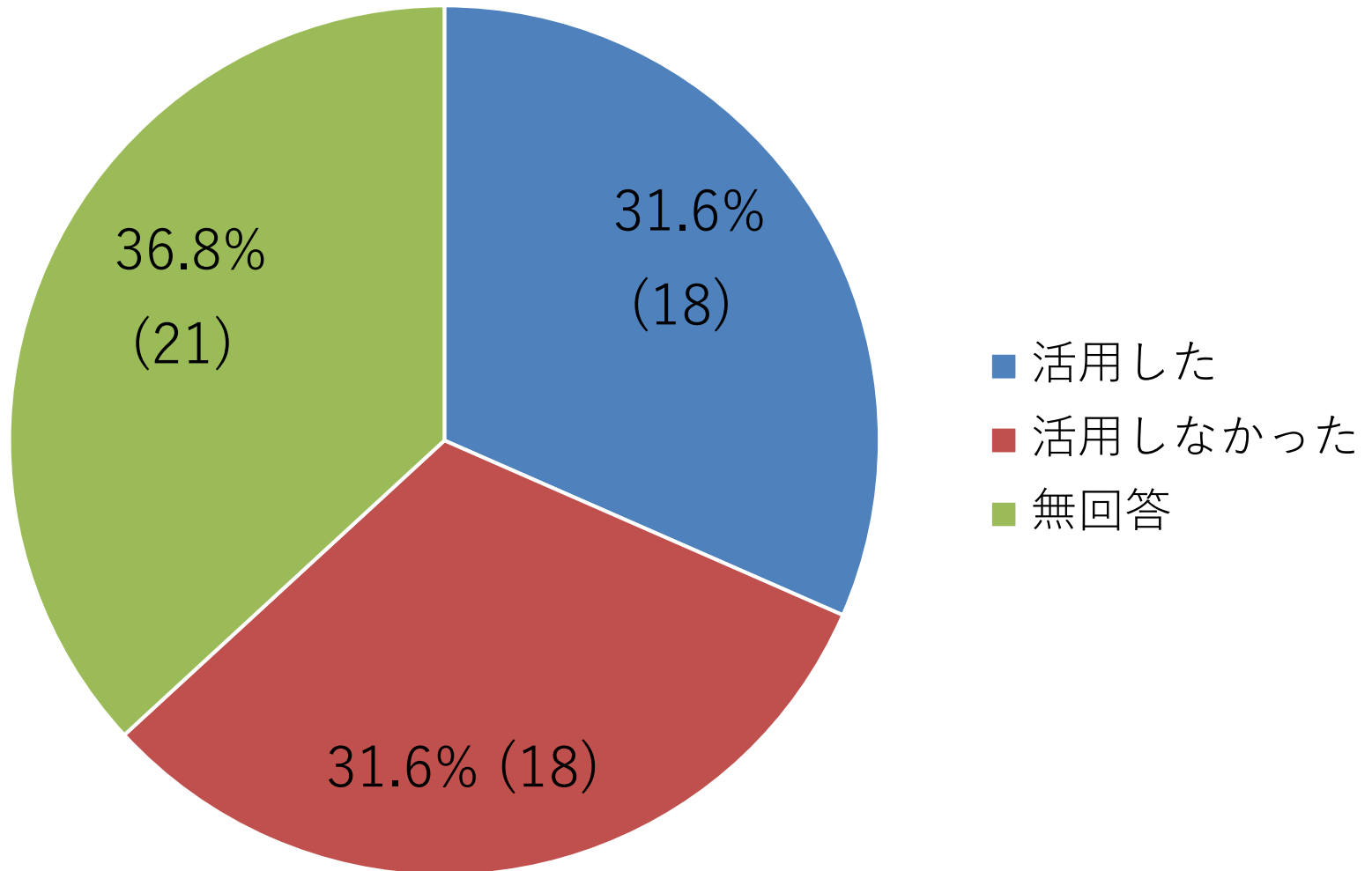
コメント結果(N=118)



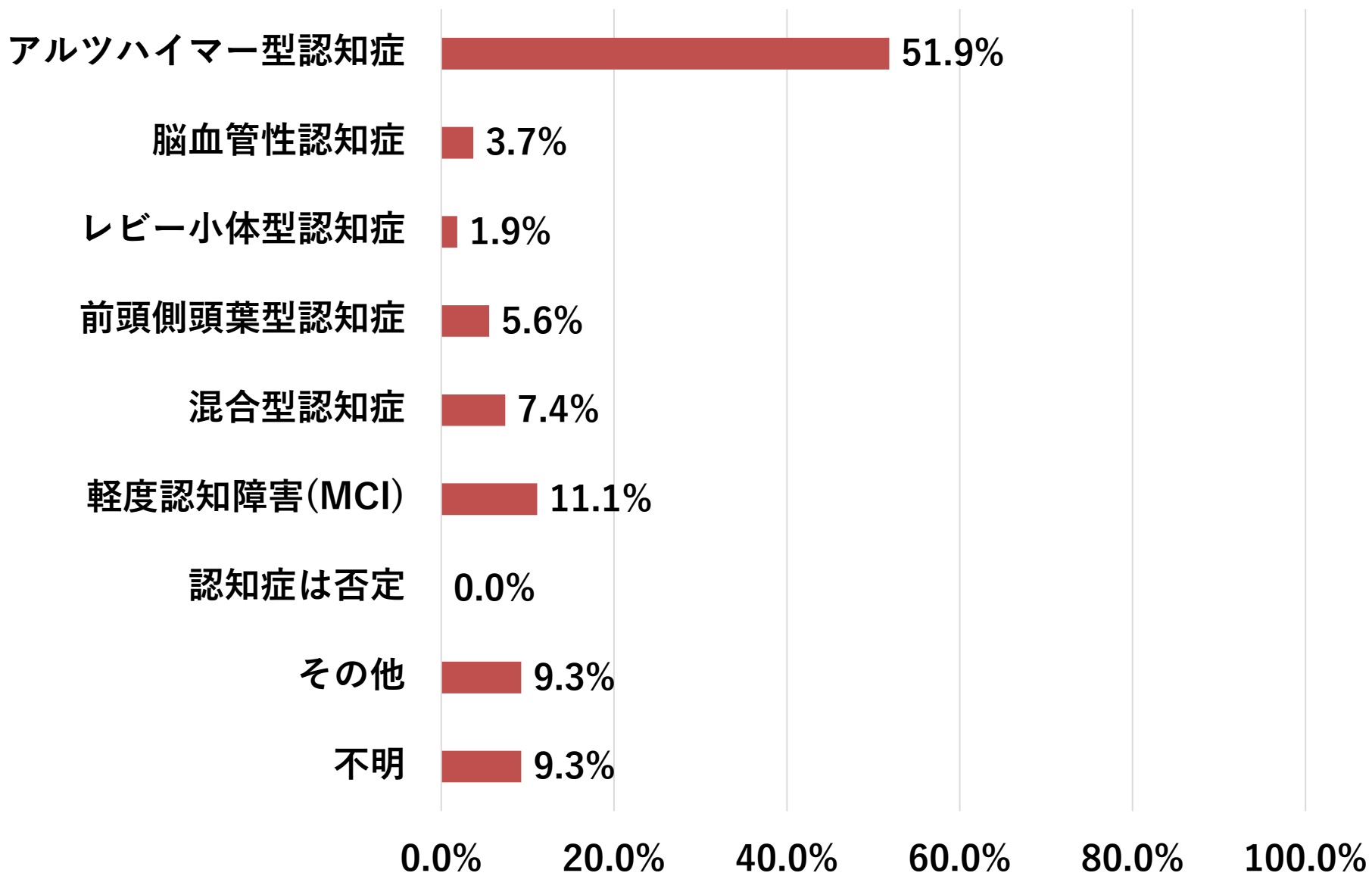
専門医療機関受診推奨群の紹介の有無 (N=78)



専門医療機関紹介の際の 「みえる手帳」使用の有無 (N=57)



鑑別診断結果 (%) (N=54)



■2019年実績 まとめ

